

LPガスCP情報(2017年8月積み)

1. 8月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 420^{ドル} (前月比+75^{ドル})

ブタン 460^{ドル} (前月比+95^{ドル})

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が反騰するなか、LPガス需要はインド、中国需要の高まりで市況は上昇した。インドの在庫減少でブタン付きカーゴの需要が高まるとともに中国もブタン付きカーゴの引き合いを強めておりブタン価格が上昇、プロパン、ブタン格差が強まった。CP先物は続騰し、第4週はブタンが415^{ドル}、プロパン455^{ドル}に達した。極東CFR市況は第4週末でプロパン440^{ドル}、ブタン480^{ドル}どころへ続騰、フレート市況は船舶需給の緩和で軟化した。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格(FOB:以下MB)は、全米プロパン在庫が12週連続の増加、輸出は市況高騰でキャンセルが続き2015年6月以来の水準に落ち込んだが、在庫水準は過去5年の平均を下回り、原油市況の上昇を受けて第4週末には377^{ドル}まで上げた。月間平均は336^{ドル/トン}、前月比28^{ドル}の上昇。

ナフサは原油市況に連れ高、月間平均は422^{ドル}、前月比10^{ドル}の反騰。バンカーオイルも原油市況に追随し、月間平均で300^{ドル}どころ、前月比7^{ドル}の反騰。

8月CPは前年同月比プロパン135^{ドル}、ブタン170^{ドル}高。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン16ポイント、ブタン22ポイント上昇、前年同月比ではプロパン28ポイント、ブタン38ポイントそれぞれ高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	21	21	20	19	20
CP先物指標:P	355	375	390	415	384
CP先物指標:B	375	390	420	455	410

② 原油市況等

WTIは7月47.07^{ドル}でスタート、OPEC加盟の減産免除国であるナイジェリア、リビアの増産もありOPECの6月生産量が年初来最高を記録、米国のリグ稼働数が増加し原油生産量は940万b/dまで増加し2015年以来の高生産量となり上旬に市況は45^{ドル}割れとなった。米国原油在庫は高水準ながら減少が続き5億バレルを割り込み製品在庫も減少したことを好感、24日にOPEC等監視委員会が開催され、ナイジェリアの生産上限目標が検討され、ドル安もあり5営業日続伸50^{ドル}に迫った。

一方、NYMEXのWTI総取組高は株高でリスク許容度が高まり増加、28日時点で218万枚、大口投機玉の買越残高は7月25日時点で42.3万枚と前月比10万枚増加した。大口投機玉の買建売は65.9万枚、売建玉は23.6万枚どころで推移、買建玉が増加、売建玉が手仕舞われた。

○7月積みアラビアン・ライト(7月1~31日まで)は47.34^{ドル}(前月比+1.66^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン388.12^{ドル/トン} ブタン382.80^{ドル/トン}

AL比 プロパン108.21% ブタン120.17%

2. 2017年7月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用為替	TTS	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	113.55	43,400	46,800	44,500	+2,600	+4,600	+3,700
②末日締め	113.43	43,400	46,800	45,500	+2,500	+4,600	+3,000

*TTS平均について、①が6月21日~7月20日、②7月1~31日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①がCP75%、MB25%、②がCP70%、MB30%で算定。なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、仕切の詳細はWebサイトを参照。また、2017年7月仕切から2社がプロパン仕切フォーミュラ変更を提案、MBとCPの合成FOBに変更されています。これで大手4社が足並みを揃えました。